

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

ミルキーランド保育園では、東京都が行っているすくわくプログラムに取り組んでいます。すくわくプログラムとは、子どもたちが好奇心や興味をもって、ワクワクしながら遊び、学べるように応援をする取り組みです。この取り組みを通して子どもたちの豊かな心の育ちをサポートしていきます。

今年度は、「音」「絵本」というテーマでプログラムを組みました。今回は第2回の報告です。

1. 活動のテーマ

<絵本>

読み聞かせの時間で子どもとのやりとりを楽しんだり、好きな絵本を見つけて繰り返し読んでもらうことを喜んだり、絵本を通して子どもの興味を広げ、新たな発見につながる活動にする。

<テーマの設定理由>

子どもたちは絵本の読み聞かせをしてもらう時間が好きで、毎日読み聞かせを楽しみにしている。多くの絵本に触れることで、言葉が広がったり、創造する力がついたり、園目標にある「考える子」にもつながっていくと考えた。

2. 活動内容

大型絵本を購入し、様々な場面で大型絵本の読み聞かせを行った。



実際に大型絵本を持ってみたい、めくってみたい・・・
大きい絵本を持ち上げるのは大変そうでしたが、普段は触れられない絵本に触れて、絵本への興味がより増したように感じました。
大型絵本は特別感があってみんなお気に入りです」

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・大型絵本を目の前にし、いつもとは違う特別感を味わいながら絵本に触れていた。
- ・小さい絵本で普段読んでいるものもあり、大きくなったことで新鮮さを感じ食い入るように見ていた。
- ・絵が大きくなることで、掛け声に合わせて体を動かしたり、声に出して言ってみたりする時に子どもの動きや声も自然と大きくなっていった。
- ・何が見たい?の問いかけに、子どもが好きな絵本の名前を聞き出すことができた。

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・絵本が好きな子どもたちにとって、普段触れられる絵本は保育者と1対1で楽しむもの、自分で読むもの、という感覚でいるように感じた。逆に大型絵本は特別な時間に読んでもらうみんなで見ると感じた。
- ・延長保育の時間は特別なことができる時間なので、普段触れられない大型絵本に触れる機会を作ると、より絵本への興味を持っていくように感じた。

活動のテーマ

<音楽>

- ・子供たちが見たことのない楽器を手にした時、わくわく感を味わい、どのようにして奏でるのか?どんな音がでるのか体験して、知っている歌に併せて全園児で合奏を試みる。

<テーマの設定理由>

日ごろから音楽が聞こえてくると体を動かして表現している様子が見られていた。その中で自然に手拍子が始まるため、楽器を持ったらもっと色々な表現ができたり、歌に興味を持てるのでは?と思い設定した。

<活動の内容>

- ・打楽器セットを見て興味を持つ。
- ・打楽器に触れて音を鳴らしてみる。
- ・音楽に合わせて演奏を楽しむ



はじめは「これなんだろう？」という疑問から、「楽器だよ」と教えてもらったことで今度は、どうやったら音がなるのかな？と考える姿が見られました。

「どうやってやるの？」と聞きにくる子がいたり、自分でいろいろと触れながら音を鳴らす方法を考える子がいたり、それぞれの反応が見られました。友だちが音を鳴らす様子を見て自分もその楽器を使ってみたいと思い、「貸して」と声を掛け、様々な楽器に触れて楽しんでいました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・はじめは「これなんだろう？」という疑問から入ったが、「楽器だよ」と教えてもらい、音の鳴らし方を考えていた。
- ・「どうやってやるの？」とすぐに聞く子もいたが、自分でいろいろと触れながら音を鳴らす方法を考える子もいた。
- ・友だちが音を鳴らす様子を見て自分もその楽器を使ってみたいと思い、「貸して」と声を掛ける姿も見られた。

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・楽器を持つと自然と体が動き、リズムを取っていた。珍しい楽器もあり、子どもの興味がより増して、普段の合奏よりも集中していたり、もっとやりたいという気持ちにつながっていた。
- ・自分で選んだ楽器ということで特別感を感じていた。
- ・知らない楽器の名前に興味をもってなんていう楽器なのかを聞きにくる子がいて、音を鳴らすだけではない興味も持っていた。

